

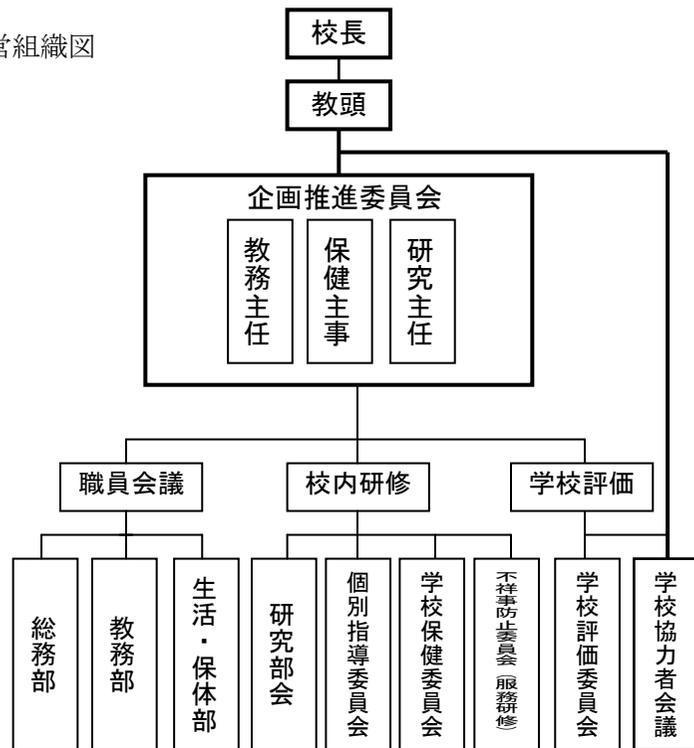
学級編制 5月1日現在

学年	1	2	3・4		5・6		合計
男子	4	3	2	2	1	3	15
女子	4	2	4	4	3	2	19
計	8	5	12		9		34

職員組織

職名	分掌	名前	担任	教科(校内)	教科外(校内)	PTA
校長		川本 敏幸				
教頭	総務	佐竹 普治		理科		事務局
教諭	教務主任	奥谷 徹	1年	国語 音楽	学校行事 道徳	文化
教諭	特別支援 コーディネーター	神野 恵子	2年	生活 図工	人権教育 特別活動	研修
教諭	研究主任 図書館担当	高野 ゆり	3・4年	算数 社会	図書館教育 総合	文化
教諭	保健主事 体力づくり 推進リーダー 情報教育担当	新谷 博章	5・6年	体育 家庭	言数・英語 情報教育・ 視聴覚教育	研修
養護 教諭	生徒指導担当 食育推進担当	良玄 弘美	養護	養護	生徒指導 給食・保健	事業
主事	総務部長	西山 修	事務	事務	事務	事務局
事務 補助	図書館 担当補助	中本美代子	事務 補助	事務	事務	事務局

学校運営組織図



年間の主な行事

月	主な行事等
4	就任式 前期始業式 入学式 身体測定 家庭訪問 日曜参観・PTA 総会 全国学力調査 遠足(宮島)
5	内科検診 湯来中学校校区合同運動会 交通安全教室
6	歯科検診 基礎学力状況調査(5年) プール開き 避難訓練 授業参観
7	地区子ども会大掃除 夏季休業 7/26~8/29 教育相談
8	全校登校日・平和集会 授業再開 8/30 水泳記録会
9	校内夏休み作品展 授業参観・PTA講演会 9/16 なわとび大会 前期終業式 10/12
10	秋休み 10/13~10/15 後期開始式 10/16 個人懇談会 10/15 文化祭 10/28
11	避難訓練 修学旅行 就学時検診 11/15
12	地区子ども会大掃除 冬季休業 12/22~1/6
1	校内書き初め大会
2	授業参観・懇談会(1~5年) 2/5(6年生) 2/27 なわとび大会 避難訓練 入学説明会
3	卒業式 3/19 修了式 3/25 学年末始業休業 3/26~4/7 離任式

週日課表

時刻	月	火	水	木	金	
8:20	職朝			職朝		
8:30	朝の読書	朝の読書	朝会	スポーツ タイム	朝の読書 朝の読書	
8:45	朝の会・健康観察			朝の会 健康観察		
8:45	1校時	1	2	3	4	
9:30	休み					
9:35	2校時	6	7	8	9	
10:20		大 休 憩				
10:40	3校時	11	12	13	14	
11:25	休み					
11:30	4校時	16	17	18	19	
12:15		給 食 準 備				
12:35		給 食				
12:55		昼 休 憩				
13:20		掃 除				
13:35		移 動				
13:40		帯 タイム			終わりの会	帯タイム
13:55					13:20 田楽 クラブ 14:05	
14:00	5校時	21	22	23	24	
14:45	6校時	25	26	27	28	
15:40		終わりの会				
15:50						終わりの会
16:00	下校					

学校朝会 第1火曜日  
プレゼン朝会 第2・3・5火曜日  
児童朝会 第4火曜日

委員会・クラブ・田楽  
木曜日 13:35 ~ 14:20

平成 24 年度  
広島市立湯来東小学校  
学校要覧



**湯来東小学校校歌**

作詞 西本 博治  
作曲 清水 正己

一 朝日かがやく 東郷山  
強い心 きたえつつ  
すくすく育つ 山の児が  
幼い腕を 組み合つて  
誠実の道を 進みゆく

二 水内の谷の 田園に  
正しい心 育てつつ  
明るく伸びる 里の子が  
小さな肩を 寄せ合つて  
学びの道を 進みゆく

三 清い流れの 太田川  
豊かな心 願いつつ  
希望に燃えて 湯来の子が  
元気な声を かけあつて  
理想の道を 進みゆく

われらの 東小学校

広島市立湯来東小学校  
〒738-0602 広島市佐伯区湯来町変谷1803-1  
TEL (0829) 83-0513 FAX (0829) 83-0213  
ホームページ <http://www.yukihigashi-e.edu.city.hiroshima.jp/>  
Eメール [yuki-e@e.city.hiroshima.jp](mailto:yuki-e@e.city.hiroshima.jp)

## 1 学校の紹介

本校は、全校児童 34 名の小規模校であり、3 分の 2 の児童はバスで通学している。過疎化、少子化により児童数は、年々減少の傾向にあり、中・高学年が複式学級となっている。地域・保護者の学校教育への期待は大きく、その期待をくみとり、地域に根ざし、環境を生かした特色のある教育活動に取り組んでいる。その一つとして本校が昭和 4 1 年から今日までの 48 年間取り組んでいる日本青少年赤十字活動を挙げることができる。子どもたちは、日本青少年赤十字活動の「気づき・考え・実行・振り返り」を基本において、体験・福祉・奉仕活動等に取り組んでいる。

一方、教育研究では、平成 12 年度に「思いや考えを伝え合う児童の育成」～国語科と音楽科の授業づくりを通して～を研究主題として、広島県へき地小規模研究大会で授業公開をした。そして、平成 1 4 年度から 1 6 年度は、文部科学省の指定を受け、「学力向上フロンティア・スクール」として、基礎・基本の定着を図るための具体的な指導方法の工夫・改善をめざしての実践研究を進め、平成 16 年度には、研究の成果を発表した。

平成 17 年 4 月に旧湯来町が広島市に合併したため、広島市立の学校となり、平成 19 年度からは思考力・判断力・表現力の向上を目指す「ひろしま型カリキュラム」の国語科実践研究校として「伝え合う力を育成する指導方法の工夫改善」をテーマに研究をすすめている。

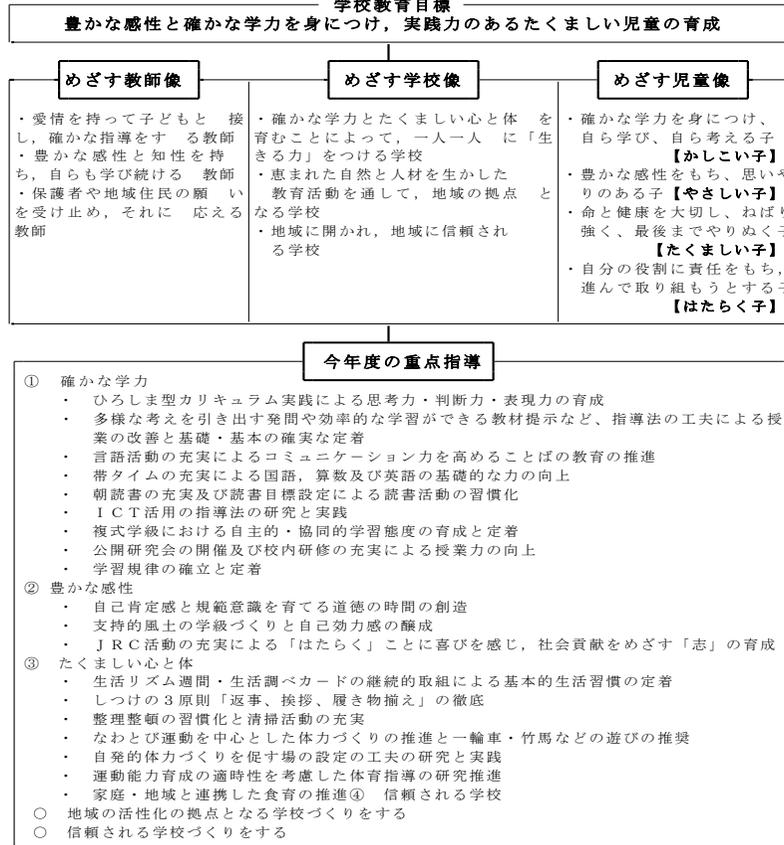
また、平成 22 年度「へき地教育全国大会」の会場校となり、国語科の授業を公開した。

## 2 沿革

明治 8 年	旧和田, 麦谷, 下の 3 村にそれぞれ小学校を設立
14 年 4 月	下村に津伏小学校を増設
17 年 4 月	麦谷村に皆草小学校を増設
22 年	3 村(和田・麦谷・下)が合併して水内村となる
29 年	皆草小と堂原小を統合して水内尋常小学校と改称 大塚小と津伏小を統合して水内下尋常小学校と改称
昭和 16 年 4 月	国民学校令により和田, 水内, 水内下国民学校となる。
18 年	水内国民学校 校舎落成(現在地)
22 年 4 月	国民学校令の廃止により, 水内村立和田小学校, 水内小学 水内下小学校となる。
24 年 4 月	和田小学校を水内上小学と改称
31 年 9 月	3 か村(上水内, 水内, 砂谷)が合併して湯来町となり, それ ぞれ湯来町立の小学校となる。
32 年 10 月	完全給食の開始
41 年 8 月	水内小学校 日本青少年赤十字に加盟
42 年 11 月	水内小学校 JRC 活動により学習研究社より学研賞受賞。
43 年 4 月	水内上小, 水内小, 水内下小の 3 校が統合して水内小学校と なる。(名目統合) 水内上小は上教場, 水内下小は下教場と 呼び, 今まで通り 3 校で教育にあたる。初代校長として水内 小学校長 増原政登 任命
44 年 4 月	現校舎落成し, 上下教場ともに実質統合し, 湯来東小学校と 改称。バス通学開始
平成 11 年	パソコン校内 LAN 工事完了 新型パソコン設置
12 年	県へき地小規模校研究大会で授業公開
14 年	ビオトープ施設完成 学力向上フロンティア研究公開(平成 16 年まで研究公開)
16 年	水内ふるさと祭りに銭太鼓, 佐伯区民まつりに田楽出場
17 年 4 月 25 日	に旧湯来町が広島市と合併し, 広島市立湯来東 小学校となる。 9 月台風被害のため国道 433 号線が崩落, 通学に影響が でる。
18 年 9 月	の豪雨災害によって国道 433 号線が崩落, 1 日休校。 上バス児童, 崩落現場は, ガードマンの付添で徒歩通学し バスを乗り継いで登校。1 月公開研究会(道徳授業)
19 年 9 月	国道 433 号線の崩落現場復旧工事が終わり, 開通。
11 月 30 日	自主公開 道徳・食育(広島市食育推進校の指定校)

20 年 11 月	「ひろしま型カリキュラム」国語科	公開研究会
21 年 11 月	「ひろしま型カリキュラム」国語科	公開研究会
22 年 10 月	第 59 回全国へき地教育研究大会	
23 年 5 月	湯来中学校区合同体育祭開催	
24 年 5 月	湯来中学校区合同体育祭を合同運動会に名称変更し実施	

### 3 学校教育全体構想図



総務部	教務部	生活保体部
-----	-----	-------



## 4 平成 24 年度校内研究

全員が楽しく、わかる・できる授業の創造  
～複式における国語科の指導の工夫～

本校では、児童の減少により平成 2 0 年度から複式学級が存在している。複式授業でも主体的に学習できるような伝え合う力の育成をめざして、4 年間国語科を中心に授業を進めてきた。その取組の成果として、学習リーダーを中心として主体的に授業を進める力や「書く力」については、高まりが見られる。しかしながら、依然として、児童一人一人の学習の定着状況の差が大きく、算数科に比べて国語科の授業が好きと答えた児童の割合が低いという課題は残された。そこで、昨年度から「全員が楽しく、わかる・できる授業の創造」サブテーマとして、「複式におけるひろしま型カリキュラム国語科の指導の工夫」という研究主題で実践研究を始めた。つまり、複式授業においても、全員が楽しく活動し、全員がわかる授業づくりをめざすということである。これは、C 評定になりがちな児童でも、楽しく授業に参加し、わかるようになることをめざし指導を工夫することであり、それは、全ての児童にとっても楽しく分かる授業になるという「ユニバーサルデザイン」の考えが基になっている。

今年度もこの研究主題で研究を深めていく必要性を感じているが、それには、自主的・協同的な学習をさらに充実させ、学習リーダーを育てていくような取組を具体的に示し、全職員が共通認識を持って取り組むことが大切であると考え。

具体的には、次のように授業を改善していく。

- 単元ごとに指導すべき事項を中心に指導内容を明確にして指導することで、「わかった・できた」という達成感を児童に感じさせるようにする。
- 興味・関心を高めたり思考を助けたりするために、I C T などを活用して教材を提示したり、板書を工夫したり「動作化」させたりして「視覚」をはたらかせて考えられるように工夫をする。
- ペアや学年全員で協力して課題追求させる場を設定し、楽しく活動させる。「話し合い活動」の充実を図り、意見交流することに課題がある児童も参加できるようにする。

また、自主的・協同的な学習を充実させるためにも、学習リーダーの育成を進め、「間接指導時におけるめざす姿」を作成し、指導していく。低・中・高学年の継続的な指導を通して、内容を整理しながら進めたり、発言をつないだりまとめたりできる力を育てる。他にも、帯タイムや朝読書の時間を活用し、話す聞く、書く、読むなどの基礎学力の定着も図っていく。特に、「フリートーク」は間接指導時の自主的・協同的な学びの基礎ともなる「発言力」や「質問力」「共感的な人間関係」の育成に欠かせないものだと考え、全校体制でフリートークについて研修を深めていく。

## 5 生徒指導目標

- 一人ひとりの個性の伸長を図りながら、社会的な資質や能力・態度を身につけるとともに、児童の自己教育力の育成をめざす。
- ◎ あいさつ(お互いに気持ちの良くなるようなあいさつ)
  - ◎ 廊下・階段での歩き方(自他の安全を考えて、誰に注意されても守ろうとする)
  - ◎ トイレの履き物そろえ(次に使う人のことを考えて、特に放課後)
  - ◎ 掃除(黙って、進んで、時間いっぱい)

## 6 健康・体力づくり推進目標

- 運動好きな児童、また、心身を鍛え、健康を保持しようとする児童の育成
- ① 運動の楽しさを味わえる教科体育の工夫
  - ② 児童に向上心を持たせるスポーツタイムの運営
  - ③ 自らの健康を保持増進しようとする態度の育成
  - ④ 体を使っての自由遊びを楽しむ児童の育成
  - ⑤ 体力づくりについてその大切さを家庭へ発信し、連携して取り組める基盤を作る。

- 重点目標  
縄跳びに意欲的に取り組ませる。(年 2 回のなわとび大会)